

SSKO

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

Grow up!!

ニュースレター 第34号(2006, 1, 11)

栃木ダルクは喪に服し、今年の新年のご挨拶は抜きにさせていただきます。

それというのも、ダルク創設のときから多大な援助をし、また日本の薬物問題にも貢献して来られたカトリック教会のロイ・アッセンハイマー神父様が、非常に残念なことですがお亡くなりになりました。

ロイ神父様には、栃木に施設を開設した当初からアドバイスをいただいたり、ご支援いただいたり、また悩んだときには癒しをいただいたりと、本当にお世話になりました。その見返りを求めない愛情はただただ敬服するばかりです。

話を聞いた当初は、先日元気なお姿を拝見しておりましたので、とてもショックでしたが、時間が経つに連れ、私たちの施設でもロイ神父様の見返りを求めない奉仕の精神は引き継いでいかななくてはならないと強く思いました。

ロイ神父様には、安らかにご永眠されますよう心よりお祈りいたします。

栃木ダルク代表 栗坪千明

事務所とミーティングルーム



新施設の開設について
先月のニュースレターでお知らせいたしましたとおり、今年の1月11日（水）から栃木ダルク宇都宮OP（アウトパシエント）を開設いたします。当初昨年12月中旬ごろという予定が延期されての開設になりました。この施設は社会復帰専用の施設となり、那須でのトリート

メントを終了したメンバーがプログラムをする場、または東京などの大都市で社会復帰するメンバーの一手手前の場でもあります。今年一年はこの回復の段階システムと、宇都宮、那須の両施設を定着させることを目標にしていきます。

そのためには、プログラムの充実と回復のための環境整備が必要です。どんなことが必要なか未知数な部分もありますが、利用者が出来るだけフラストレーションを溜め込まずにプログラムを実践していけるようにスタッフが心がけ、回復の場が安全であるために、日ごろ私たちが回復の指標としている9の指針とNAの12ステップを使っていけば、必ず出来ることであると思います。

最近、一般の方たちに随分とダルクという名前が浸透してきつつあると思います。このことが、まだ苦しんでいる多くの薬物依存者にとって福音となるよう、利用者だけではなく私たちスタッフも心がけていきたいところです。薬物依存症は一生治らない困難な病であるといわれます。私たちも依存者本人です。だからこそ一緒にやろうよと言えるのです。これは私たちの特権です。でも非力であるのも確かです。私たちが社会の有用な一員であり続けるためには、周りのいろいろな方々の支えがあるからこそです。

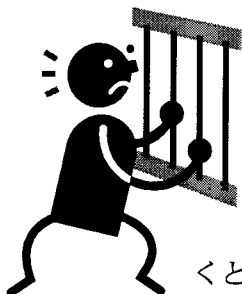
今年もこのニュースレターを読んでいる方々には、今までどおりご相談をしたり、支援を求めたりとお世話になっていくことと思います。宜しくお願いいたします。



ミーティングルーム

4年間

依存症のキシ

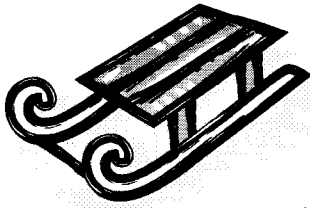


約4年前、刑務所を仮釈放で出所しました。身元引受人は茨城ダルクの施設長です。自分の生まれ育った町が宇都宮市ということから、茨城ダルクは無理ということとなり、入寮施設は磐梯ダルクと決まりました。雪の舞う磐越道を車に揺られながら雪山を眺め、寂しい気持ちでいたことをよく覚えています。ダルクに着くと、仲間達にハグをされたり、色々なことを聞かれたり、教わったりでその夜は終わりました。

朝を迎えダルクの生活が始まるのですが、刑務所の延長線的に捉えていましたから、生活自体に苦は感じなかったのだけれど、仲間との関係がめんどうくさくてしょうがなかった。仮釈放の期間を消化したら退寮しようと決めていましたから、仲間との関係はどうでもよかったのですよ。その頃思っていたことは退寮したらまた適当に要領よくやればいい、薬もバレないようにやればいい、本当社会を舐めきっていましたから、ある時期を境に本命の覚醒剤はやらないのだけれど、施設で禁止されている酒や薬で遊ぶようになります。めちゃくちゃな施設生活が始まりました。スタッフ研修とか色々な役割を与えて貰っても、自分の生活自体を改めることはありませんでした。

当たり前を使い、何事もないように偽る、完全に開き直っていました。時には俺は何のためにダルクに居るのだろうかと考える事もあるのだけれど、酒や薬でオツムは当たり前なのが、当たり前理解できてなかったのだと思います。そんな生活を過ごす中とうとう大きな事故を起こしてしまいました。NAに通う車の運転をするのだけれど、その日は出発前から睡眠薬を飲んでいました。NAが終わり、さて帰りとなるのだけれど、その頃にはもういい気分が出来上がっていました。全く恐怖感を感じる事も無く気がついたときには、仲間10人を乗せた車は見事に横転していました。その後の事は殆んど記憶にありません。施設長に事務所に呼ばれ色々話をする中でおぼろげに記憶は甦ってくるのだけれど自分の中では夢の中の出来事でした。

その日のうちに施設移動となりました。行く先は秋田ダルク、本当逃げ出したい気分でした。その頃の秋田ダルクに対する自分のイメージはすこぶる悪く、秋田は雪が多いし、火事で燃えたばかりだし、施設長は怖そうだしと、仲間内でもダルクの終着駅だと噂されていました。実際、秋田に行ってみると自分のイメージとは大きく違いくらいとても楽しいところでした。夏は海水浴、冬は山にスノーボード、温泉、焼肉の食い放題、映画、カラオケ、お祭り等、当たり前連れて行ってくれました。驚いたこと



は施設長が何時も仲間達と一緒にプログラムや NA に出かけること
でした。

秋田に行ってから酒が止まりました。薬は磐梯ダルクに居た頃
のように毎日使うようなこともありませんでした。秋田でもスタッ
フ研修など色々な役割を与えてもらいました。でも自分の病気は厄介でち
よっと慣れてくると、仲間の睡眠薬を飲んでしまったり、いろんな問題を起こしまし
た。その中で高知ダルクに行く機会を与えてもらいました。高知に移ってから最初は
1日3回のミーティングが辛く苦しかった。特にステップミーティング。でも今迄経
験していたダルクとは大きく違いとても自由を感じました。ダルクの2階から窓を開
けると一面の海で開放感を感じました。でも仲間との距離が近すぎて、一人になりた
くてしかたありませんでした。そんな時仲間に誘われて行くサウナがとても息抜きに
なりました。高知ではダルクを卒業し社会人として NA に通ってくる仲間達が沢山い
て、自分も早く社会に出たいなという思いが強くなりました。ダルクからアルバイト
に行ったりしている仲間をいつも羨ましいなと見ていました。高知での生活を終え秋
田に戻りました。帰ってからも高知で感じた社会に出たいという思いは変わりませ
んでした。秋田で生活していても仲間に対する批判だとか、施設の批判だとかいつもそ
んなことばかり考えていました。そんな時に施設移動してみないかと話がありました。
即答で何処にでも行きたいと返事しました。数日後の秋田フォーラムでスピーカーを
させてもらいました。ダルクに長く居たけどスピーカーをするのは始めてとても緊
張しました。最後に良い機会を与えてもらえたと感謝です。

その後の移動先は、今生活させていただいている那須ダルクです。那須に来たばか
りの頃は、施設の規則が多くてうっとうしくてしかたがなかった。あれは駄目、これ
も駄目、聞かずにやれば怒られる。凄く過保護な施設で息が詰まりました。今になっ
て生活に慣れてくると、これもありなのかなとは思っています。那須に来てからは本
当なにも求めず与えられるものだけをこなす。そんな生活を心がけています。もうす
ぐ宇都宮市にクォーターハウスやディケアなどができると聞いています。行きたいと
いう思いは強いけど、今までと同じことを続けようと思っています。そ

んな生活しているとそのうち良いこともあるでしょう。薬が止ま
って21ヶ月、クリーンを大事にしたいなという気持ちも芽生え
てきました。これも今まで自分のわがままに付き合ってくれた仲
間達のおかげだと思っています。仲間に感謝。





工
事
中
？

1月予定

- 11日 宇都宮 OP 開所
- 11日 黒羽刑務所覚せい剤教育
- 12日 ロイ神父告別式
- 18日 黒羽刑務所覚せい剤教育
- 19日 クリーンナップ
- 21日 TC 研究会
- 24日 ガイドポスト
- 25日 黒羽刑務所覚せい剤教育
- 29日 宇都宮家族会

編集

栃木DARC

宇都宮OP

那須TC

〒320-00

〒329-3225

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14

栃木県那須郡那須町豊原丙 3227-2

形松ビル 3F

TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

TEL 0287-77-7157 FAX 77-7158

ホームページアドレス <http://www.t-darc.com>



正月、磐梯にてフェロウシップ



年末に磐梯の仲間と家族会の
皆さんと那須で餅つき

発行所

郵便番号一五七—〇〇七三
東京都世田谷区砧六—二六—二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円

12月献金を下さった方々

高橋美紀様、山口絵美様、清重知子様、大藤禮子様、大久保照男様
栃木ダ'ルを支援する家族会様、宗教法人イヰス・マリアの聖心会様
杉岡栄治様、聖体奉仕会修道院様、古川富枝様、西尾雅樹様
横塚よう子様、那須ト'ル修道院様、長千恵様

カトリック桐生教会様

匿名4名様

12月献品を下された方々

ハ'ルオ'マ・マ'マ'ン様、威徳院極楽寺様、佐藤久子様、荒木三郎様
栃木ダ'ルを支援する家族会様

匿名4名様